

令和5年度 事業報告

概要

令和5年度は、コロナ禍の影響からの緩やかな持ち直しにより日常生活も安定し、街は以前の活気を取り戻す一方で、物価高やウクライナ紛争など世界情勢は不安定なままの一年となりました。

当センターにおいても会員の減少に歯止めがかからず、令和5年3月末時点では過去3カ年の平均会員数が150人を下回るなど危機的な状況となったことから、会員拡大を最重要課題として新規会員紹介制度の見直しをはじめ会費の見直しなどに取り組むとともに、10月から開始されたインボイス制度への対応を行いました。また、作業中の物損及び人身事故の防止のため、安全パトロールのほか作業別安全適正就業規準の徹底に努めました。

そのような中で会員の高齢化は進んでおり、継続して就業できるような体制づくりに向けた検討が急がれています。退会抑制、新規会員の獲得を推進し、公益社団法人としての役割を果たすため地域社会に密着したシルバー人材センター事業の運営に努めてまいります。

なお、備前市をはじめ各関係機関や市民の皆さまのご理解とご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。

1. 備前市シルバー人材センター事業活性化計画

以下目標を設定し、会員・役職員が一体となって事業の活性化を図りましたが、会員拡大は男性会員が大きく目標割れとなったほか、請負・委任では、昨年大きく減少した公共からの受注は持ち直したものの、目標には届きませんでした。なお、派遣関係は、ほぼ目標達成ができました。

《 就業機会目標 》

区分	令和5年度			実績 (参考)			
	目標	実績	達成率	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
会員数 (人)	男	108	94	87.0%	107	102	89
	女	46	47	102.2%	44	42	45
	計	154	141	91.6%	151	144	134
就業率 (%)	請負・委任	90.1%	87.2%	96.8%	90.7%	90.9%	93.2%
	派遣	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
就業延人員 (人日)	請負・委任	14,340	13,818	96.4%	13,512	13,409	13,465
	派遣	1,470	1,636	111.3%	1,557	1,375	1,277
受注件数 (件)	請負・委任	2,492	2,289	91.9%	2,375	2,330	2,317
	派遣	16	18	112.5%	15	15	14
契約金額 (千円)	請負・委任	75,509	70,734	93.7%	74,394	70,606	68,896
	派遣	11,091	11,084	99.9%	11,660	10,371	9,810

※ 目標は「第三次 中期活動計画」(令和5年度から令和9年度までの5年間の計画)

2. 組織活動の活性化

シルバー人材センターの基本理念「自主・自立、共働・共助」の実現に向け、会員参加の自主運営組織としての活動を推進しました。

- ① 理事会・専門部会の機能強化により「自主・自立」の運営に努めました。
- ② 会員同士の声掛けによる「1人1会員紹介運動」を展開しました。
- ③ 会員による新入会員の紹介報奨制度の見直しや初年度会費2分の1軽減制度の活用などにより、新規会員の入会を推進しました。
- ④ 会員募集と仕事案内のチラシを作成し備前市の広報誌とともに市内全戸に配布していただき、新規会員の勧誘に努めました。
- ⑤ 退会を希望する会員とは必ず面談し、ゴールド会員制度を活用するなどにより、退会者の抑制に努めました。
- ⑥ 会員相互の連携と親睦を図るため親睦会総会に合わせて懇親会を開催し、36名の会員が参加しました。
- ⑦ 「共働・共助」の下、2人以上での就業を基本とし、会員相互の親睦と連帯意識の高揚を図るよう努めました。

3. 普及啓発活動の推進

会員拡大と就業開拓を進めるには、シルバー事業の基本理念及び仕組みについて地域の市民及び事業所等の皆さまに広く知っていただくことが肝要であることから、シルバー事業についての普及啓発活動を推進し、地域社会における信頼と理解が得られるよう努めました。

- ① 広報誌「シルバーびぜん(第18号)」を4月に発行し、備前市の広報誌とともに市内全戸に配布していただき、普及啓発に努めました。
- ② ホームページによる情報公開など広く普及啓発を行いました。
- ③ 地域社会貢献の一環として、備前市総合運動公園の体育館周辺で落ち葉かき等のボランティア活動を、会員29名の参加により2月に実施しました。

4. 就業開拓と就業機会の拡大

シルバー事業の基本である「みんなで開拓、みんなで就業」の下、役職員をはじめ会員一人ひとりにより就業開拓に努めました。

また、会員に各種技能講習会等の受講を呼びかけ、技能向上と就業範囲の拡大を促進しました。

5. 安全・適正就業の推進

草刈作業での飛石による物損事故が依然として発生しており、防護ネットの数を増やすなどの対応をしました。また、転倒や剪定作業での転落事故が発生したことから、作業別安全適正就業規準を再確認願うとともに作業前のミーティングによる事故防止啓発の徹底をお願いしました。

- ① 5月に就業現場の安全・適正就業パトロールを、岡山県連合会の安全就業推進員の同行で実施しました。
- ② 2月に「安全・適正就業委員及び推進員合同会議」を開催し、交通安全講習として就業中の交通事故防止の啓発と、高齢者の被害が多い特殊詐欺についての講座を岡山県警察並びに備前警察署のご協力で行いました。
- ③ 交通事故防止と安全運転の励行のため「無事故・無違反チャレンジ200日」に当センターから3チーム（30人）が参加しました。（2チーム達成）
- ④ 適正就業への取組として、請負・委任・派遣等の仕事の受注や会員の就業が適正に行われるよう、自主点検表によるチェックを行いました。

6. 講習会・研修会の開催等

技能・技術の継承と後継者育成のため、及びシルバー事業のデジタル化の推進の一環として各種講習会を実施しました。

- ① 8月に刈払機の操作、点検整備に関する知識・技術習得のため、刈払機取扱者安全衛生教育（県連合会主催）を開催しました。
- ② 剪定作業に就業できる会員の拡大と安全に作業できるよう、実技を中心として松をメインにその他樹木の剪定講習会を独自開催し、技術の研鑽に努めました。
- ③ 会員のデジタル化に向け、また新規入会者獲得のため、スマホ教室を4回開催し、会員及び一般の方延べ31名の会員が参加しました。

7. 調査・研究の促進

地域社会の就業機会の多様化に対応し、時代に適合したセンター事業の展開を図っていくために、先進地センターの調査及び研究に努めました。

また、備前市の「介護予防・日常生活支援総合事業」の「ささえあい訪問サービス」への積極的な参画をしてまいりました。